

2018年3月期第2四半期決算の概要

東レ株式会社

2017年11月10日

目次

I. 2018年3月期第2四半期決算の概要

2018年3月期第2四半期連結損益概要	(P3)
営業外収支	(P4)
特別損益	(P5)
資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー	(P6)
設備投資額・減価償却費・研究開発費	(P7)
セグメント別売上高・営業利益	(P8)
セグメント別業績	(P9-15)
営業利益増減要因分析(第2四半期累計期間)	(P16)
主要子会社・地域の収益状況(第2四半期累計期間)	(P17)

II. 2018年3月期連結業績見通し

2018年3月期連結業績見通し	(P19)
セグメント別業績見通し	(P20)
設備投資額・減価償却費・研究開発費見通し	(P21)

I . 2018年3月期第2四半期決算の概要

2018年3月期第2四半期連結損益概要

億円

	17年3月期 第2四半期 (7~9月)	18年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	17年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	18年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
売上高	4,789	5,401	+613 (+12.8%)	9,570	10,482	+912 (+9.5%)
売上原価	3,753	4,274	+521 (+13.9%)	7,437	8,251	+813 (+10.9%)
売上総利益	1,036	1,128	+92 (+8.8%)	2,133	2,231	+99 (+4.6%)
(売上高総利益率)	21.6%	20.9%	-0.8 ポイント	22.3%	21.3%	-1.0 ポイント
販売費及び 一般管理費	683	736	+52 (+7.6%)	1,370	1,451	+81 (+5.9%)
(売上高販管費比率)	14.3%	13.6%	-0.7 ポイント	14.3%	13.8%	-0.5 ポイント
営業利益	353	392	+39 (+11.2%)	763	781	+18 (+2.3%)
(売上高営業利益率)	7.4%	7.3%	-0.1 ポイント	8.0%	7.4%	-0.6 ポイント
営業外収支	▲ 10	▲ 22	-12	▲ 2	▲ 13	-11
経常利益	343	370	+27 (+8.0%)	761	768	+7 (+0.9%)
特別損益	▲ 10	▲ 31	-21	▲ 13	▲ 40	-27
税前利益	333	339	+7 (+2.0%)	748	728	-20 (-2.7%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	237	214	-23 (-9.6%)	534	475	-59 (-11.0%)

		(17/3 2Q)	→	(18/3 2Q)	(17/3 2Q累計)	→	(18/3 2Q累計)
為替レート <円/US\$>	期中平均	: 102.4	→	111.0	105.3	→	111.1
	期末	: 101.1	→	112.7			
<円/ユーロ>	期中平均	: 114.3	→	130.4	118.1	→	126.3
	期末	: 113.4	→	132.9			

営業外収支

億円

	17年3月期 第2四半期 (7~9月)	18年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	17年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	18年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
営業外収益	38	43	+5	96	109	+14
受取利息及び配当金	6	6	+0	26	27	+1
持分法による投資利益	21	25	+5	43	54	+11
雑収入	11	11	+1	27	29	+1
営業外費用	▲ 48	▲ 65	-17	▲ 98	▲ 122	-25
支払利息	▲ 11	▲ 13	-1	▲ 23	▲ 26	-2
新規設備操業開始費用	▲ 7	▲ 16	-10	▲ 11	▲ 30	-20
休止設備関連費用	▲ 11	▲ 15	-4	▲ 21	▲ 28	-6
雑損失	▲ 19	▲ 21	-2	▲ 43	▲ 39	+4
営業外収支	▲ 10	▲ 22	-12	▲ 2	▲ 13	-11
金融収支	▲ 5	▲ 7	-1	3	1	-2

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

特別損益

億円

	17年3月期 第2四半期 (7~9月)	18年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	17年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	18年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
特別利益	4	5	+1	12	7	-5
有形固定資産売却益	1	1	+0	9	2	-6
投資有価証券売却益	3	4	+2	3	5	+2
その他	0	-	-0	0	-	-0
特別損失	▲ 14	▲ 36	-22	▲ 24	▲ 47	-22
有形固定資産処分損	▲ 12	▲ 11	+2	▲ 20	▲ 20	-0
環境対策費	-	▲ 17	-17	-	▲ 17	-17
その他	▲ 2	▲ 8	-7	▲ 4	▲ 9	-5
ネット特別損益	▲ 10	▲ 31	-21	▲ 13	▲ 40	-27

注) 収益はプラス、費用はマイナス(▲)で表示

資産・負債・純資産、フリー・キャッシュ・フロー

億円

	17年3月末	17年9月末	増減
資産合計	23,968	25,475	+1,507
流動資産	10,667	11,118	+451
有形固定資産	8,814	9,147	+333
無形固定資産	773	743	-30
投資その他	3,713	4,467	+753

	17年3月末	17年9月末	増減
負債合計	12,966	13,902	+936
流動負債	6,700	6,416	-284
固定負債	6,266	7,487	+1,220
純資産合計	11,002	11,572	+571

自己資本	10,213	10,764	+552
自己資本比率	42.6%	42.3%	-0.4 ポイント

有利子負債残高	7,164	8,042	+878
---------	-------	-------	------

D/Eレシオ	0.70	0.75	+0.05
--------	------	------	-------

<フリー・キャッシュ・フローの状況>

億円

	17年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	18年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
営業活動	767	491	-276
投資活動	▲645	▲1,285	-640
フリー・キャッシュ・フロー	122	▲794	-916

設備投資額・減価償却費・研究開発費

億円

	17年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	18年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
設備投資額*	601	699	+98
東レ	105	141	+36
連結子会社	496	558	+62
減価償却費*	439	467	+28
東レ	139	155	+16
連結子会社	299	312	+12
研究開発費	286	312	+26
東レ	206	235	+29
連結子会社	80	77	-3

*有形固定資産・無形固定資産(のれんを除く)の合計

主な設備投資:

Toray Advanced Materials Korea Inc.	: 高機能ポリプロピレン長繊維不織布設備
Toray Battery Separator Film Korea Limited	: ポリエチレンフィルム“セティーラ®”設備
Toray Composite Materials America, Inc.	: 炭素繊維“トレカ®”プリプレグー貫設備
Toray Advanced Textile Mexico, S.A. de C.V.	: 自動車エアバッグ用ナイロン繊維・基布設備

セグメント別売上高・営業利益

億円

	売上高			営業利益		
	17年3月期 第2四半期 (7~9月)	18年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減	17年3月期 第2四半期 (7~9月)	18年3月期 第2四半期 (7~9月)	増減
繊維	2,025	2,217	+192 (+9.5%)	168	179	+11 (+6.4%)
機能化成品	1,715	1,995	+280 (+16.4%)	141	190	+50 (+35.2%)
炭素繊維複合材料	368	421	+53 (+14.5%)	63	48	-15 (-24.2%)
環境・エンジニアリング	502	584	+81 (+16.2%)	28	25	-2 (-8.6%)
ライフサイエンス	134	140	+6 (+4.9%)	5	5	+0 (+6.9%)
その他	46	45	-1 (-1.6%)	6	6	+1 (+17.3%)
計	4,789	5,401	+613 (+12.8%)	411	455	+44 (+10.7%)
調整額				▲ 58	▲ 63	-5
連結	4,789	5,401	+613 (+12.8%)	353	392	+39 (+11.2%)

	売上高			営業利益		
	17年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	18年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減	17年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	18年3月期 第2四半期累計 (4~9月)	増減
繊維	4,002	4,228	+226 (+5.7%)	346	355	+9 (+2.7%)
機能化成品	3,462	3,907	+445 (+12.8%)	296	357	+61 (+20.6%)
炭素繊維複合材料	806	848	+43 (+5.3%)	160	105	-56 (-34.8%)
環境・エンジニアリング	964	1,152	+188 (+19.5%)	53	68	+16 (+29.9%)
ライフサイエンス	252	262	+10 (+3.9%)	7	14	+7 (+88.9%)
その他	84	85	+1 (+1.0%)	5	9	+4 (+71.0%)
計	9,570	10,482	+912 (+9.5%)	868	908	+40 (+4.6%)
調整額				▲ 105	▲ 127	-22
連結	9,570	10,482	+912 (+9.5%)	763	781	+18 (+2.3%)

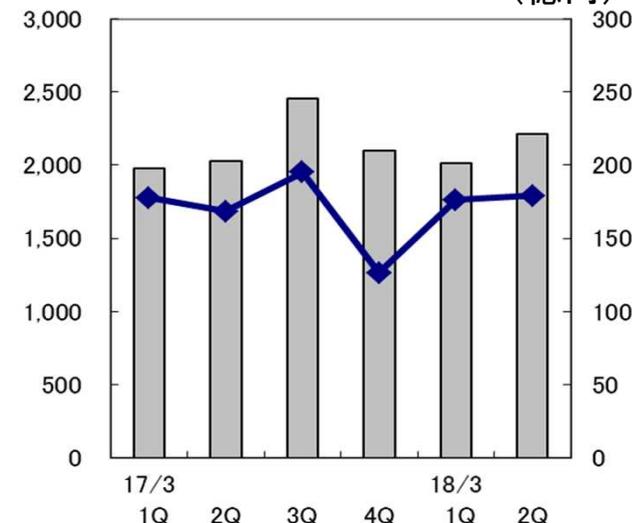
セグメント別業績(繊維)

単位: 億円

		2Q(7~9月)				2Q累計(4~9月)			
		17年 3月期	18年 3月期	増減		17年 3月期	18年 3月期	増減	
売上高	東レ	448	490	+42	(+9.5%)	898	958	+60	(+6.7%)
	国内	1,033	1,043	+10	(+1.0%)	1,962	1,953	-9	(-0.5%)
	海外	1,217	1,442	+225	(+18.5%)	2,466	2,794	+328	(+13.3%)
	修正	▲ 672	▲ 758	-86		▲ 1,324	▲ 1,477	-153	
	計	2,025	2,217	+192	(+9.5%)	4,002	4,228	+226	(+5.7%)
営業利益	東レ	49	49	+1	(+1.1%)	106	110	+4	(+3.5%)
	国内	35	35	-0	(-0.2%)	51	53	+2	(+4.9%)
	海外	91	111	+20	(+21.6%)	208	230	+22	(+10.5%)
	修正	▲ 6	▲ 16	-9		▲ 18	▲ 37	-19	
	計	168	179	+11	(+6.4%)	346	355	+9	(+2.7%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



2Q (7~9月)

国内では、自動車関連など産業用途の一部で需要が堅調なもの衣料用途は引き続き低調に推移する中、各用途での拡販に加え、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進をはじめとする事業の高度化や原価改善に注力。

海外では、中国や東南アジアで衣料用途の販売を拡大。自動車関連用途向けや衛生材料向けは総じて堅調に推移。

2Q累計 (4~9月)

国内では、自動車関連など産業用途の一部で需要が堅調なもの衣料用途は引き続き低調に推移する中、各用途での拡販に加え、糸綿／テキスタイル／製品一貫型ビジネスの推進をはじめとする事業の高度化や原価改善に注力。

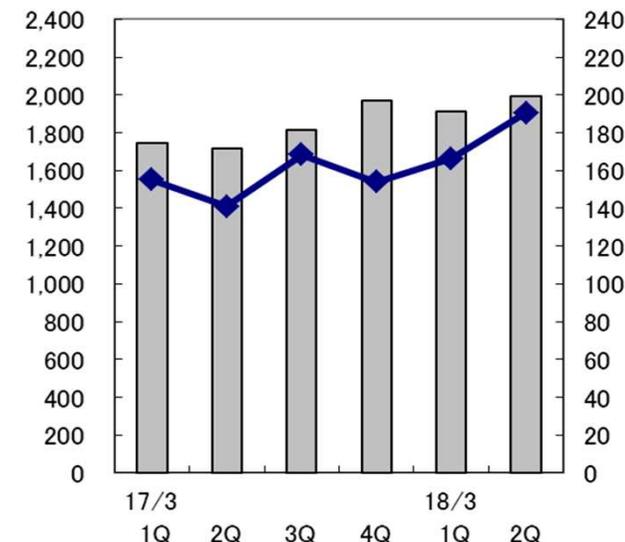
海外では、東南アジアなどの一部子会社の業績が中東向け輸出低迷などの影響を受けたが、自動車関連用途向けや衛生材料向けは総じて堅調に推移。

セグメント別業績(機能化成品)

単位: 億円

		2Q(7~9月)				2Q累計(4~9月)			
		17年 3月期	18年 3月期	増減		17年 3月期	18年 3月期	増減	
売上高	東レ	520	609	+89	(+17.1%)	1,024	1,198	+174	(+16.9%)
	国内	1,066	1,124	+58	(+5.4%)	2,138	2,210	+72	(+3.4%)
	海外	989	1,323	+334	(+33.7%)	2,050	2,591	+542	(+26.4%)
	修正	▲ 860	▲ 1,061	-200		▲ 1,750	▲ 2,092	-343	
	計	1,715	1,995	+280	(+16.4%)	3,462	3,907	+445	(+12.8%)
営業利益	東レ	37	56	+19	(+52.2%)	73	113	+40	(+55.2%)
	国内	39	34	-5	(-12.7%)	77	67	-10	(-12.6%)
	海外	73	109	+36	(+49.6%)	161	192	+31	(+19.1%)
	修正	▲ 8	▲ 8	-1		▲ 15	▲ 15	-1	
	計	141	190	+50	(+35.2%)	296	357	+61	(+20.6%)

売上高
＜棒グラフ＞



営業利益
＜線グラフ＞
(億円)

2Q
(7~9月)

樹脂事業は、自動車関連用途向けの出荷が国内を中心に概ね堅調に推移。自動車以外の用途でも、ABS樹脂やPPS樹脂などの拡販を推進。フィルム事業は、リチウムイオン二次電池向けのバッテリーセパレータフィルムが需要の伸長を背景に出荷を拡大したのに加え、スマートフォン向けなどの電子部品用途が好調に推移するなど、国内外で堅調に推移。電子情報材料事業は、有機EL関連材料の出荷が拡大。韓国子会社の高機能回路材料も出荷が拡大。

2Q累計
(4~9月)

樹脂事業は、自動車関連用途向けの出荷が国内を中心に概ね堅調に推移。自動車以外の用途でも、ABS樹脂やPPS樹脂などの拡販を推進。フィルム事業は、リチウムイオン二次電池向けのバッテリーセパレータフィルムが需要の伸長を背景に出荷を拡大したのに加え、スマートフォン向けなどの電子部品用途が好調に推移。電子情報材料事業は、有機EL関連材料の出荷が拡大。

機能化成品事業のサブセグメント別売上高

単位:億円

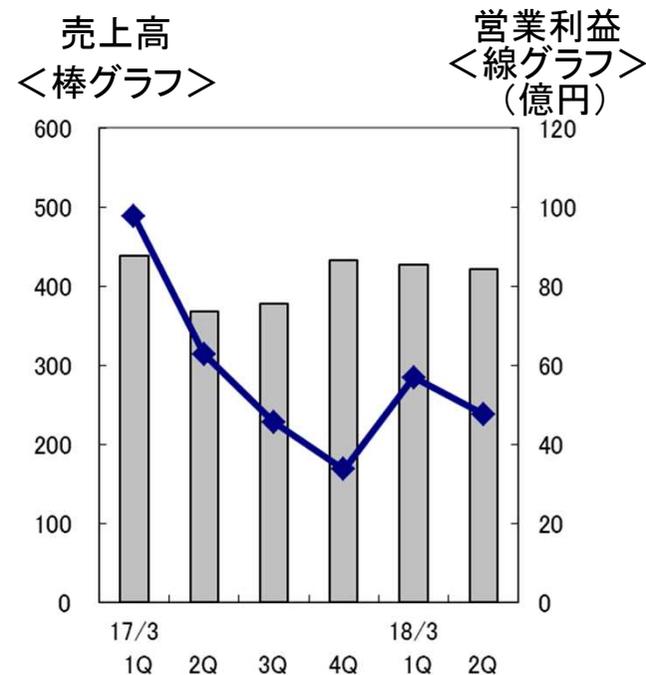
	17年3月期第2四半期 (7~9月)		18年3月期第2四半期 (7~9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
樹脂・ケミカル	706	27%	877	29%	+24%
フィルム	714	28%	831	27%	+16%
電子情報材料	144	6%	167	5%	+16%
商事	1,011	39%	1,181	39%	+17%
修正	▲ 860	-	▲ 1,061	-	-
合計	1,715		1,995		

	17年3月期第2四半期累計 (4~9月)		18年3月期第2四半期累計 (4~9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
樹脂・ケミカル	1,440	28%	1,741	29%	+21%
フィルム	1,429	27%	1,602	27%	+12%
電子情報材料	292	6%	313	5%	+7%
商事	2,051	39%	2,343	39%	+14%
修正	▲ 1,750	-	▲ 2,092	-	-
合計	3,462		3,907		

セグメント別業績(炭素繊維複合材料)

単位: 億円

		2Q(7~9月)				2Q累計(4~9月)			
		17年 3月期	18年 3月期	増減		17年 3月期	18年 3月期	増減	
売上高	東レ	253	232	-21	(-8.5%)	526	464	-62	(-11.8%)
	国内	159	167	+8	(+5.0%)	349	337	-13	(-3.6%)
	海外	315	327	+12	(+3.9%)	689	662	-27	(-3.9%)
	修正	▲ 359	▲ 305	+55		▲ 759	▲ 614	+144	
	計	368	421	+53	(+14.5%)	806	848	+43	(+5.3%)
営業利益	東レ	33	25	-8	(-23.1%)	75	48	-27	(-35.9%)
	国内	3	4	+1	(+25.4%)	7	8	+1	(+21.5%)
	海外	40	26	-13	(-34.1%)	92	56	-36	(-39.1%)
	修正	▲ 13	▲ 8	+5		▲ 14	▲ 8	+6	
	計	63	48	-15	(-24.2%)	160	105	-56	(-34.8%)



2Q (7~9月)

航空宇宙用途では、航空機の最終需要が堅調に推移している中、サプライチェーンでの在庫調整は進んでいるものの、出荷は本格的な回復には至らなかった。一般産業用途では、圧縮天然ガスタンクや風力発電翼などの環境・エネルギー関連用途の需要が回復傾向となった。また、パソコン筐体等のコンポジットの販売が拡大。なお、原料価格の上昇や競合激化の影響を受けた。

2Q累計 (4~9月)

航空宇宙用途では、航空機の最終需要が堅調に推移している中、サプライチェーンでの在庫調整は進んでいるものの、出荷は本格的な回復には至らなかった。一般産業用途では、圧縮天然ガスタンクや風力発電翼などの環境・エネルギー関連向けを中心に、全体として需要が回復傾向となった。なお、原料価格の上昇や競合激化の影響を受けた。

炭素繊維複合材料事業のサブセグメント別売上高

単位：億円

	17年3月期第2四半期 (7～9月)		18年3月期第2四半期 (7～9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	167	45%	196	47%	+17%
スポーツ	33	9%	37	9%	+12%
一般産業	167	46%	188	45%	+12%
合計	368		421		+15%

	17年3月期第2四半期累計 (4～9月)		18年3月期第2四半期累計 (4～9月)		
	売上高	比率	売上高	比率	増減率
航空宇宙	373	46%	400	47%	+7%
スポーツ	68	8%	75	9%	+11%
一般産業	365	45%	374	44%	+2%
合計	806		848		+5%

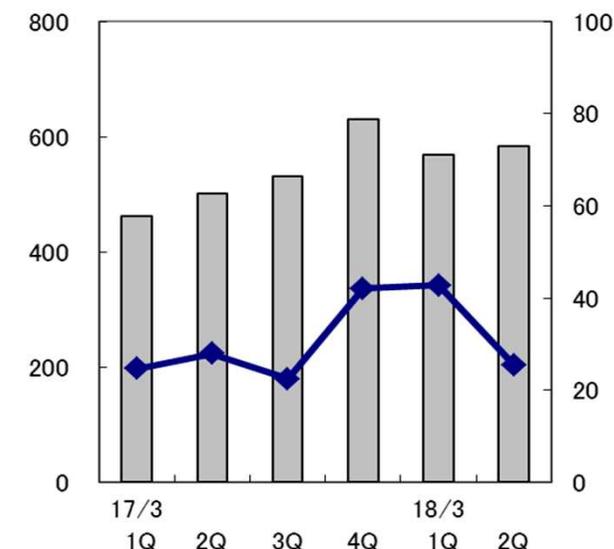
セグメント別業績(環境・エンジニアリング)

単位: 億円

		2Q(7~9月)				2Q累計(4~9月)			
		17年 3月期	18年 3月期	増減		17年 3月期	18年 3月期	増減	
売上高	東レ	59	58	-0	(-0.2%)	102	105	+4	(+3.5%)
	国内	621	690	+69	(+11.1%)	1,154	1,363	+209	(+18.1%)
	海外	62	79	+16	(+26.1%)	129	153	+24	(+18.8%)
	修正	▲ 240	▲ 244	-4		▲ 420	▲ 469	-49	
	計	502	584	+81	(+16.2%)	964	1,152	+188	(+19.5%)
営業利益	東レ	3	5	+1	(+47.6%)	0	2	+2	(+1950.0%)
	国内	22	13	-9	(-40.3%)	41	49	+8	(+19.9%)
	海外	7	7	+1	(+12.3%)	16	16	+0	(+0.3%)
	修正	▲ 4	0	+4		▲ 4	1	+5	
	計	28	25	-2	(-8.6%)	53	68	+16	(+29.9%)

売上高
＜棒グラフ＞

営業利益
＜線グラフ＞
(億円)



2Q
(7~9月)

水処理事業は、国内外で逆浸透膜などの需要が概ね堅調に推移。
国内子会社では、建設子会社で建設事業や不動産事業が堅調に推移した一方で、エンジニアリング子会社でエレクトロニクス関連機器の出荷が低調に推移。

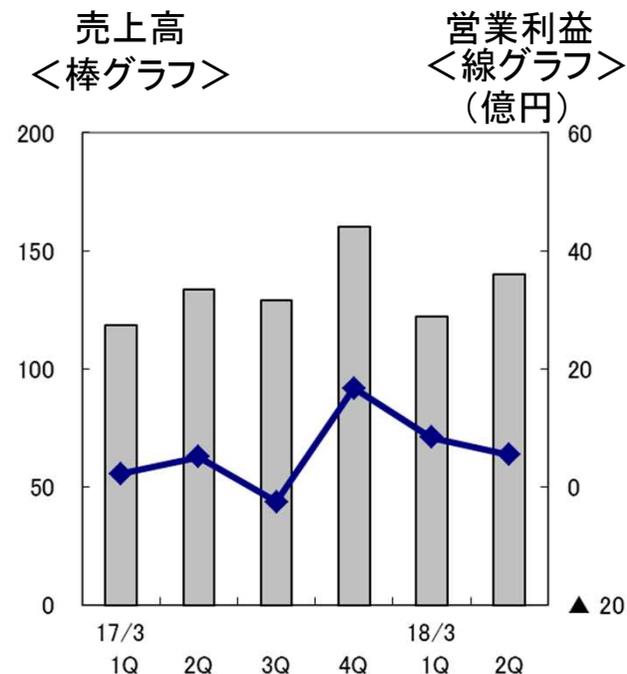
2Q累計
(4~9月)

水処理事業は、国内外で逆浸透膜などの需要が概ね堅調に推移。
国内子会社では、エンジニアリング子会社でリチウムイオン二次電池関連向けなどの産業機器が好調。

セグメント別業績(ライフサイエンス)

単位: 億円

	2Q(7~9月)				2Q累計(4~9月)			
	17年 3月期	18年 3月期	増減		17年 3月期	18年 3月期	増減	
売上高	東レ	80	71	-10 (-12.1%)	149	130	-20 (-13.2%)	
	国内	104	104	-0 (-0.2%)	200	199	-1 (-0.5%)	
	海外	28	29	+1 (+4.2%)	61	60	-1 (-2.2%)	
	修正	▲ 79	▲ 63	+15	▲ 158	▲ 126	+32	
	計	134	140	+6 (+4.9%)	252	262	+10 (+3.9%)	
営業利益	東レ	10	1	-9 (-87.4%)	6	▲ 4	-10 (-)	
	国内	0	4	+4 (+2675.0%)	▲ 3	5	+8 (-)	
	海外	0	0	+0 (+116.7%)	1	0	-0 (-35.7%)	
	修正	▲ 6	▲ 0	+5	4	12	+9	
	計	5	5	+0 (+6.9%)	7	14	+7 (+88.9%)	



2Q
(7~9月)

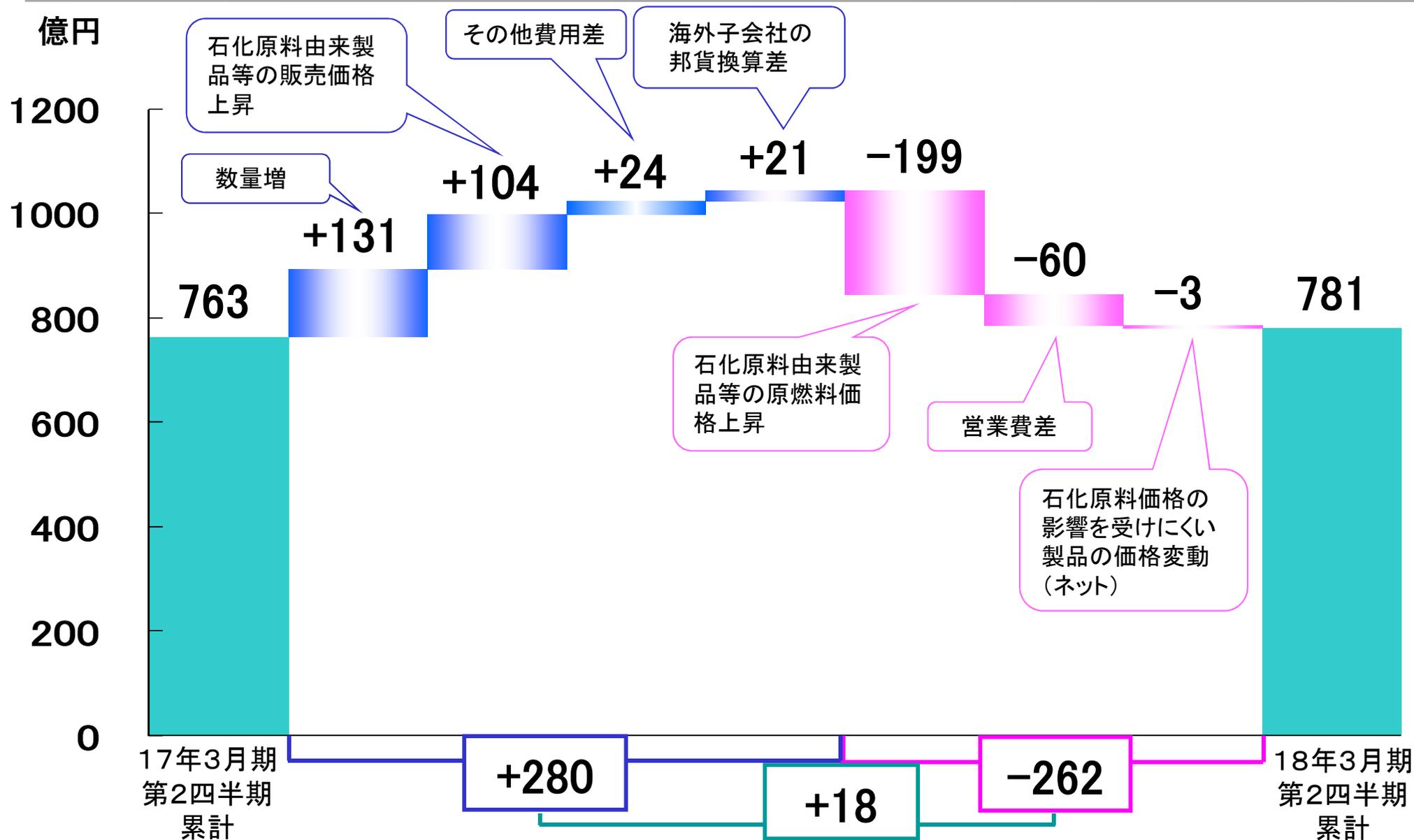
医薬事業は、経口そう痒症改善剤レミッチ[®]*が、6月からOD(口腔内崩壊)錠の販売を開始した効果もあり、出荷を拡大。一方、天然型インターフェロンベータ製剤フェロン[®]や経口プロスタサイクリン誘導体製剤ドルナー[®]の出荷は、代替治療薬や後発医薬品の影響を受けて低調。医療機器事業は、ダイアライザーの出荷が国内外で堅調に推移。

2Q累計
(4~9月)

医薬事業は、経口そう痒症改善剤レミッチ[®]*が、6月からOD(口腔内崩壊)錠の販売を開始した効果もあり、出荷を拡大。一方、天然型インターフェロンベータ製剤フェロン[®]や経口プロスタサイクリン誘導体製剤ドルナー[®]の出荷は、代替治療薬や後発医薬品の影響を受けて低調。医療機器事業は、ダイアライザーの出荷が国内外で堅調に推移。

* レミッチ[®]は鳥居薬品株式会社の登録商標です。

営業利益増減要因分析(第2四半期累計期間)



石化原料由来製品等とは、繊維、機能化成品、炭素繊維複合材料セグメントの合計値。

主要子会社・地域の収益状況(第2四半期累計期間)

億円

		売上高			営業利益		
		17年3月期 第2四半期累計 実績	18年3月期 第2四半期累計 実績	増減	17年3月期 第2四半期累計 実績	18年3月期 第2四半期累計 実績	増減
東レインターナショナル		2,578	2,674	+96	46	56	+10
東レエンジニアリング		481	517	+36	30	41	+11
東レ建設		194	250	+56	9	5	-3
東レフィルム加工		205	211	+6	9	13	+5
在東南アジア・子会社	繊維	561	659	+99	34	44	+10
	機能化成品	388	537	+149	37	54	+18
	その他	—	1	+1	—	0	+0
	計	949	1,198	+249	71	98	+27
在中国・子会社	繊維	1,216	1,359	+144	117	131	+14
	機能化成品	407	497	+90	26	14	-12
	その他	114	144	+30	3	6	+2
	計	1,736	2,001	+265	146	150	+4
在韩国・子会社	繊維	433	478	+45	22	16	-7
	機能化成品	493	665	+172	60	90	+30
	その他	82	89	+8	17	10	-7
	計	1,008	1,232	+224	99	116	+17

Ⅱ. 2018年3月期連結業績見通し

2018年3月期連結業績見通し

		17年3月期 実績	18年3月期 見通し	対前年同期比 増減	期初見通し	期初見通し との差異*	億円
売上高	上期	9,570	10,482	+912 (+9.5%)	10,500	-18	
	下期	10,695	11,718	+1,023 (+9.6%)	11,700	+18	
	通期	20,265	22,200	+1,935 (+9.6%)	22,200	—	
営業利益	上期	763	781	+18 (+2.3%)	780	+1	
	下期	706	869	+163 (+23.1%)	870	-1	
	通期	1,469	1,650	+181 (+12.3%)	1,650	—	
経常利益	上期	761	768	+7 (+0.9%)	770	-2	
	下期	677	852	+176 (+26.0%)	850	+2	
	通期	1,437	1,620	+183 (+12.7%)	1,620	—	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	上期	534	475	-59 (-11.0%)	470	+5	
	下期	460	525	+65 (+14.0%)	530	-5	
	通期	994	1,000	+6 (+0.6%)	1,000	—	
1株当たり 当期純利益	上期	33.40円	29.71円				
	下期	28.77円	32.81円				
	通期	62.17円	62.52円				
1株当たり 配当金	上期	7.00円	7.00円				
	下期	7.00円	7.00円				
	通期	14.00円	14.00円				

備考：為替レート的前提は、110円/US\$（10月以降）

*期初見通しとの差異：2017年5月10日公表値との差異

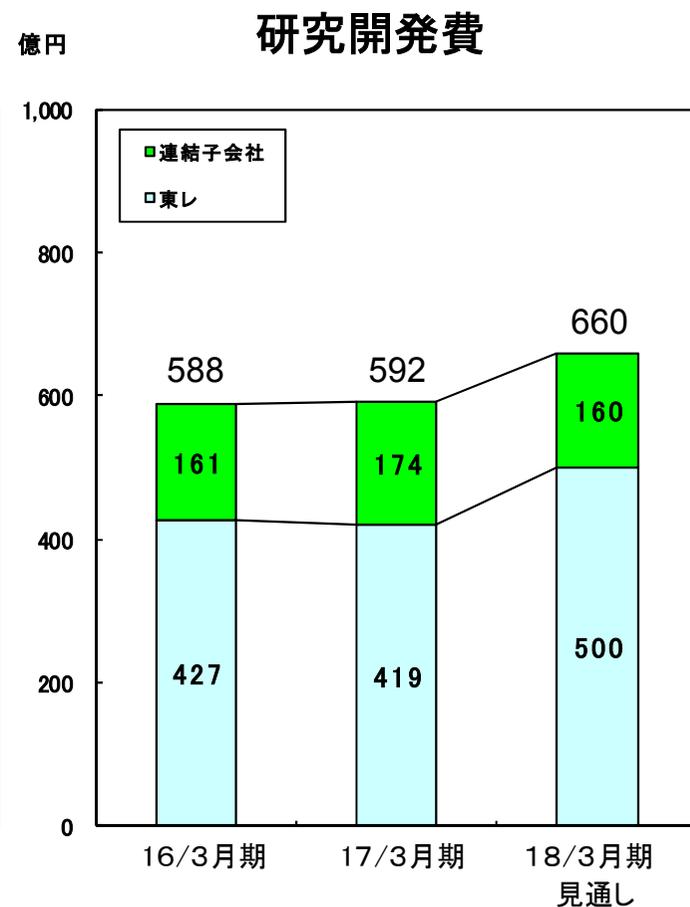
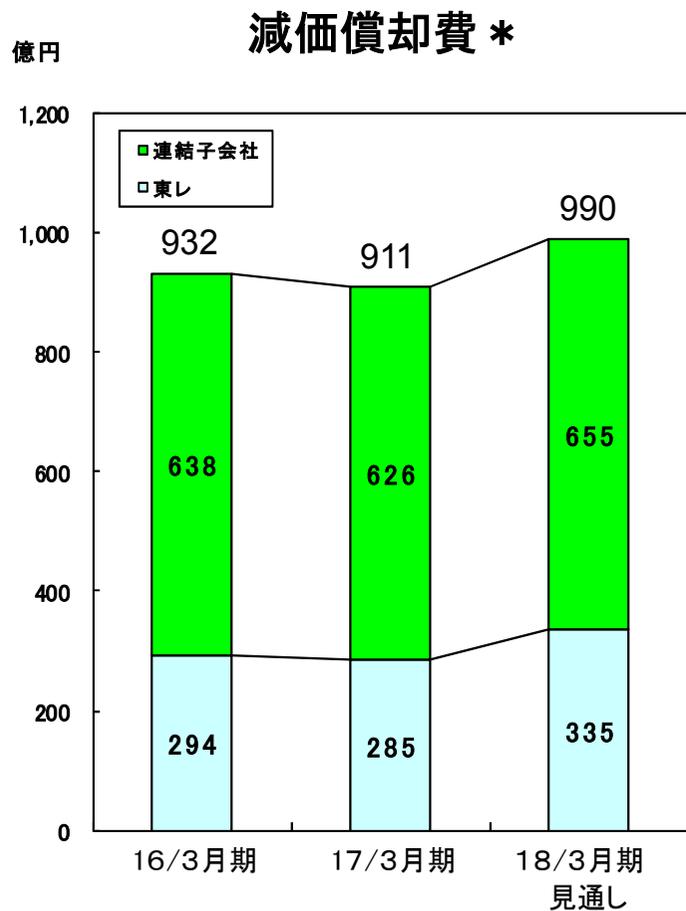
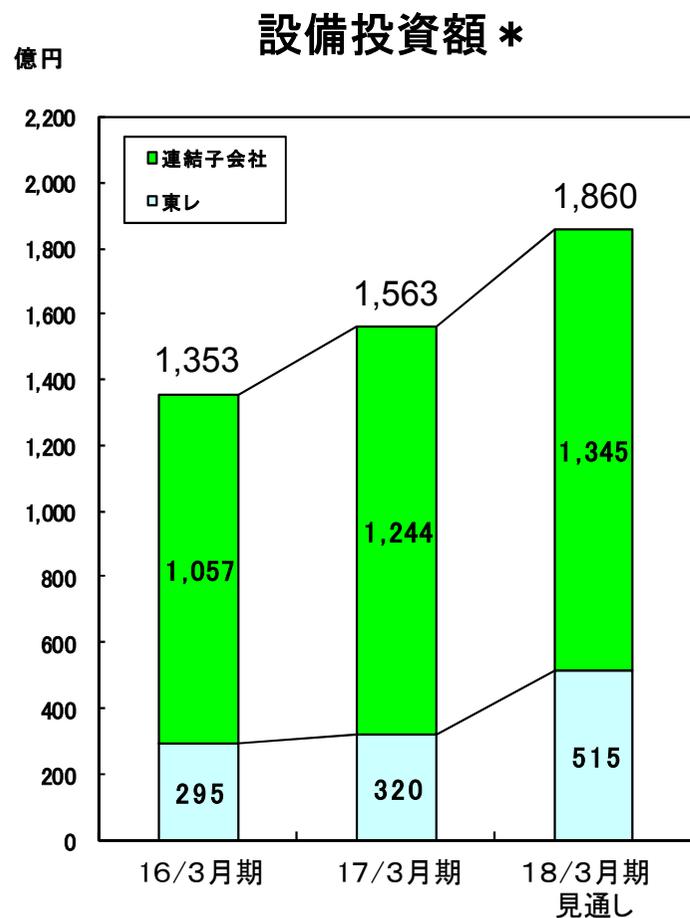
セグメント別業績見通し

億円

		17年3月期 実績			18年3月期 見通し			対前年同期比 増減			期初見通し との差異*		
		上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	繊維	4,002	4,560	8,561	4,228	5,022	9,250	+226	+463	+689	-22	+22	-
	機能化成品	3,462	3,784	7,246	3,907	4,093	8,000	+445	+309	+754	-43	+43	-
	炭素繊維複合材料	806	811	1,616	848	952	1,800	+43	+141	+184	-2	+2	-
	環境・エンジニアリング	964	1,161	2,125	1,152	1,198	2,350	+188	+37	+225	+52	-52	-
	ライフサイエンス	252	289	542	262	338	600	+10	+49	+59	-8	+8	-
	その他	84	90	174	85	115	200	+1	+25	+26	+5	-5	-
	連結	9,570	10,695	20,265	10,482	11,718	22,200	+912	+1,023	+1,935	-18	+18	-
営業利益	繊維	346	322	668	355	395	750	+9	+73	+82	-15	+5	-10
	機能化成品	296	322	618	357	383	740	+61	+61	+122	-3	+3	-
	炭素繊維複合材料	160	79	240	105	135	240	-56	+56	+0	-5	+5	-
	環境・エンジニアリング	53	65	117	68	72	140	+16	+7	+23	+23	-13	+10
	ライフサイエンス	7	14	21	14	16	30	+7	+2	+9	+9	-9	-
	その他	5	21	26	9	16	25	+4	-5	-1	-1	+1	-
	調整額	▲ 105	▲ 117	▲ 221	▲ 127	▲ 148	▲ 275	-22	-31	-54	-7	+7	-
連結	763	706	1,469	781	869	1,650	+18	+163	+181	+1	-1	-	

*期初見通しとの差異:2017年5月10日公表値との差異

設備投資額・減価償却費・研究開発費見通し



*有形固定資産・無形固定資産(のれんを除く)の合計

本資料中の2018年3月期の業績見通し及び事業計画についての記述は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいています。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

'TORAY'

Innovation by Chemistry